

# 近年に於ける我對外貿易の金額減退と其數量

泉 榮 太 郎

我國の輸出入貿易額は逐年増加の傾向を辿りつゝあれども之を仔細に觀察するときは、最近に於ては大正十二年に於ける輸出額及同十五年に於ける輸出入額に於て、何れも前年に比し著しき減少を來せること次表に示したるが如し。前者は彼の大震災災の一般商品界に及ぼしたる大打撃に基因することを知り得べきも、後者に至りては全然其原因を異にするものとす。

年 次	輸 出 額	大正十三年を一〇〇とする指數	輸 入 額	大正十三年を一〇〇とする指數
大正十一年	一、六三七、四五 <small>千円</small> 一	九〇・六一	一、八九〇、三〇 <small>千円</small> 八	七七・〇五
同 十二年	一、四四七、七五〇	八〇・一一	一、九八二、二三〇	八〇・八〇

近年に於ける我對外貿易の金額減退と其數量

同	十三年	一、八〇七、二三三	一〇〇・〇〇	二、四五三、三九〇	一〇〇・〇〇
同	十四年	二、三〇五、五八九	一二七・五八	二、五七二、六五七	一〇四・八六
同	十五年	二、〇四四、七二一	一一三・一四	二、三七七、四七六	九六・九一

然らば右は如何なる原因に基くものなりやと云ふに、是は主として物價の低落に基因するものにして、若し物價の低落なかりしものとせば、輸出入額は却て逐年増加しつゝありしものと想像することを得べく、換言すれば輸出入は其金額に於ては減退を示し居るも、其數量に於ては却て増加し居るものと見ることを得べきなり。

然るに實際上輸出入貿易の數量を各輸出入品に就き統一的に計算することは極めて困難なるが故に、今輸出入品に關する物價指數の變遷を検し、此方面より此間の消息を調査せるに以上の推測は決して誤にあらざることを證し得たり。

今當局調査に係る東京卸賣物價指數採用品目五十六品中より主要なる輸出品及輸入品を採擇し、夫々各年の平均指數を算出して掲ぐれば左の如し。

年次	輸出品物價指數	○大正十三年を 一〇〇とする指數	輸入品物價指數	○大正十三年を 一〇〇とする指數
大正十三年	二三八・五九	一〇〇・〇〇	二六六・六四	一〇〇・〇〇
同十四年	二三五・三五	九八・六四	二六三・六八	九八・八九
同十五年	二〇五・〇六	八五・九五	二三〇・六〇	八六・四八

備考 一、指數は明治三十三年十月を基準とす。

二、各品目指數は末尾附表に掲記せり。

前表によりて觀るに主要輸出入品の物價は、大正十三年來逐次低落を辿りたるも殊に同十五年に於ては、前年に比し著しく低落したることを知るべし。即ち曩に述べたるが如く同年に於ける輸出入貿易額が前年に比し著しく減退したることは、當該輸出入品價格の低落に基因するものなることを認むるを得べし。

今假りに大正十三年以降輸出入品の價格に變動なかりしものと見做して、輸出入貿易額を改算するときには次の如し。

近年に於ける我對外貿易の金額減退と其數量

年次	改算輸出額	大正十三年を100とする指數	改算輸入額	大正十三年を100とする指數
大正十三年	一、八〇七、二三三 <small>千円</small>	100.00	二、四五三、三九〇 <small>千円</small>	100.00
同十四年	二、三三七、三七七	一三九.三三	二、六〇一、五三四	一〇六.〇四
同十五年	二、三七八、九六六	一三一.六四	二、七四九、一六三	一一二.〇六

前表によりて観るに此三ヶ年間物價の變動なかりしものと假定せば、輸出入貿易額は斯の如く逐年増加したるものなりしことを知るべく、換言すれば此期間の輸出入數量は逐年増加したるものなることを認むるを得べし。

次に本年に入りて輸出入貿易は如何なる傾向を辿りつゝあるや前年同期と比較すれば左の如し。

輸出入額	昭和二年 自一月至四月	前年同期	比較減少額	前年同期を100とする指數
輸出額	五九一、四四八 <small>千円</small>	六七五、九九七 <small>千円</small>	八四、五四九 <small>千円</small>	八七.四九
輸入額	八四五、七〇一	九八〇、二〇三	一三四、五〇二	八六.二八

前表によりて観るに、輸出入額共に前年同期に比し一割二三分方減少したることを知るべしと雖、是れ亦輸出入數量の減退したる爲めに非ずして、輸出入品價格が前年同期に比し低落したるに

基因するものなることは、次の二表によりて明かなるべし。

	昭和二年自一月至四月平均	前年同期	前年同期を100とする指数
輸出品物價指數	一八八・七六	二一六・七一	八七・二一
輸入品物價指數	二二一・八四	二三八・八八	九二・八七

備考 指數は明治三十三年十月を一〇〇とす。

前表に於て觀るが如く、輸出入品共に其價格は前年同期に比し一割前後の低落を示したれども、若し斯の如き低落なかりしものと假定せば、如何なる程度の輸出入額を示したりしや、次表によりて知ることを得べし。

	昭和二年自一月至四月	物價低落の影響を除外せば	前年同期	前年同期を100とする改算額指數
輸出額	五九一、四四八 <small>千円</small>	六七八、九六七 <small>千円</small>	六七五、九九七 <small>千円</small>	一〇〇・四四
輸入額	八四五、七〇一	九一〇、六二九	九八〇、二〇三	九二・九〇

前表によりて觀るに、假りに輸出入品價格が前年同期に比し低落なかりしものとせば、輸出額は前年同期に比し四厘四毛の増加を示し、是れ即ち輸出數量の増加したることを證し、又輸入額は前

近年に於ける我對外貿易の金額減退と其數量

年同期に比し其九割二分九厘を示し、是れ即ち同期間の輸入數量が前年同期に比し七分一厘方減退したることを證するものなり。

以上述べ來りたる點を更に證明する爲め、我國に於ける重要輸出入品中各首位を占むる生糸及棉花につきて述べんに左の如し。

生糸 生糸は我國輸出總額の約三分の一を占むる最重要輸出貿易品にして、其輸出の増減は我國輸出貿易の消長に直接影響すること甚だ多し。今最近に於ける生糸の輸出金額及數量を掲記すれば左の如し。

年次	輸出金額	大正十三年を一〇〇とする指數	輸出數量	大正十三年を一〇〇とする指數
大正十三年	六八五、三六五 <small>千円</small>	一〇〇・〇〇	三七二、五六四 <small>担</small>	一〇〇・〇〇
同十四年	八七九、六五七	一二八・三五	四三八、四四九	一一七・六八
同十五年	七三四、〇五二	一〇七・一〇	四四二、九七八	一一八・九〇

前表によりて觀るに、大正十五年に於ける輸出金額は前年に比し著しく減少したるも、之は表示の如く其數量の減少したる爲めに非ずして、當該輸出品價格の低落したる爲めなることは、次に掲

ぐる改算表によりて知ることを得べし。

年次	生糸価格		大正十三年を100とせば	大正十三年平均価格 指数による改算額	大正十三年を100とする指数
	格	指数			
大正十三年	二三九	一〇〇・〇〇	六八五・三六五 <small>千円</small>		一〇〇・〇〇
同十四年	二五二	一〇五・四四	八三四・二七三		一一一・七三
同十五年	二〇七	八六・六一	八四七・五三七		一二三・六六

前表によりて観るに、假りに大正十三年來生糸價格が變動なかりしものとせば、其輸出額は逐年増加の傾向を辿りたるものなりしことを知るべく、即ち前々表によりて其輸出數量が比較的順調なる増加の傾向を辿りたることを観るときは、此點を實際的に證據立て居ることを知るべし。

尙本年に入りても此傾向を更むることなく、即ち同品の輸出金額は前年同期に比するときは減少を來したるも、其數量に至りては却て増加したることは、左表によりて知ることを得べし。

輸 出 金 額	昭和二年		比較増 (+) 減 (-)	前年同期を100とする指数
	自一月至四月	前年同期		
	二一八、〇一八 <small>千円</small>	二二三、七〇一 <small>千円</small>	(+) 四、三一七 <small>千円</small>	一〇二・〇二

近年に於ける我對外貿易の金額減退と其數量

輸 出 數 量	一四九、九一四 <small>担</small>	一一四、二三四 <small>担</small>	(+) 三五、六八〇 <small>担</small>	一三一・二三
價 格 指 數	一八二	二二八	(-) 四六	七九・八二

備考 價格指數は明治三十三年十月を一〇〇とす。

前表によりて觀るに、輸出金額は前年同期に比し僅に二分二毛の増加を示したるに過ぎざりしに其輸出數量に於て實に三割一分二厘三毛の著増を示したるは、是れ即ち同品價格の低落(二割一厘八毛)に基因するものなることを知るべし。

綿 花 綿花は生糸の輸出貿易に於ける地位と同じく、我國輸入總額の約三分の一を占むる最重要輸入貿易品にして、其輸入の増減は我國綿業界の消長に直接影響するものなり。

今最近三ヶ年に於ける棉花の輸入金額及數量を掲ぐれば次の如し。

年 次	輸 入 金 額	大正十三年を一〇〇とする指數	輸 入 數 量	大正十三年を一〇〇とする指數
大 正 十 三 年	六〇五、二七四 <small>千円</small>	一〇〇・〇〇	八、一二三、六七六 <small>担</small>	一〇〇・〇〇
同 十 四 年	九二三、三五五	一五二・五五	一〇、九四二、〇四八	一三四・六九
同 十 五 年	七二五、九三〇	一一九・九三	一一、六四五、六九二	一四三・三五



前表によりて観るに、大正十五年に於ける輸入金額は前年に比し著しく減少したるも、是れ當該品の輸入數量の減少したる爲めに非ずして、其價格の低落したるに基因することは次に掲ぐる改算表によりて明かに知ることを得べし。

年次	棉花價格指數		價格騰落の影響を除外したる輸入額及其指數
	明治三十三年十月基準	大正十三年を 一〇〇とせば	
大正十三年	二三〇	一〇〇・〇〇	六〇五、二七四 <sup>千円</sup>
同十四年	二二四	九七・三九	九四八、一〇〇
同十五年	一五一	六五・六五	一、一〇五、七五八
			大正十三年を 一〇〇とする指數
			一〇〇・〇〇
			一五六・六四
			一八二・六八

前表によりて観るに、假りに大正十三年來棉花の價格が變動なかりしものとせば、其輸入額は逐年増加の傾向を辿りたるものなりしことを知るべく、即ち前々表によりて其輸入數量が逐年増加の傾向を辿りたることを示せるは、此點に對して實際的證明を與ふるものと云ふべし。

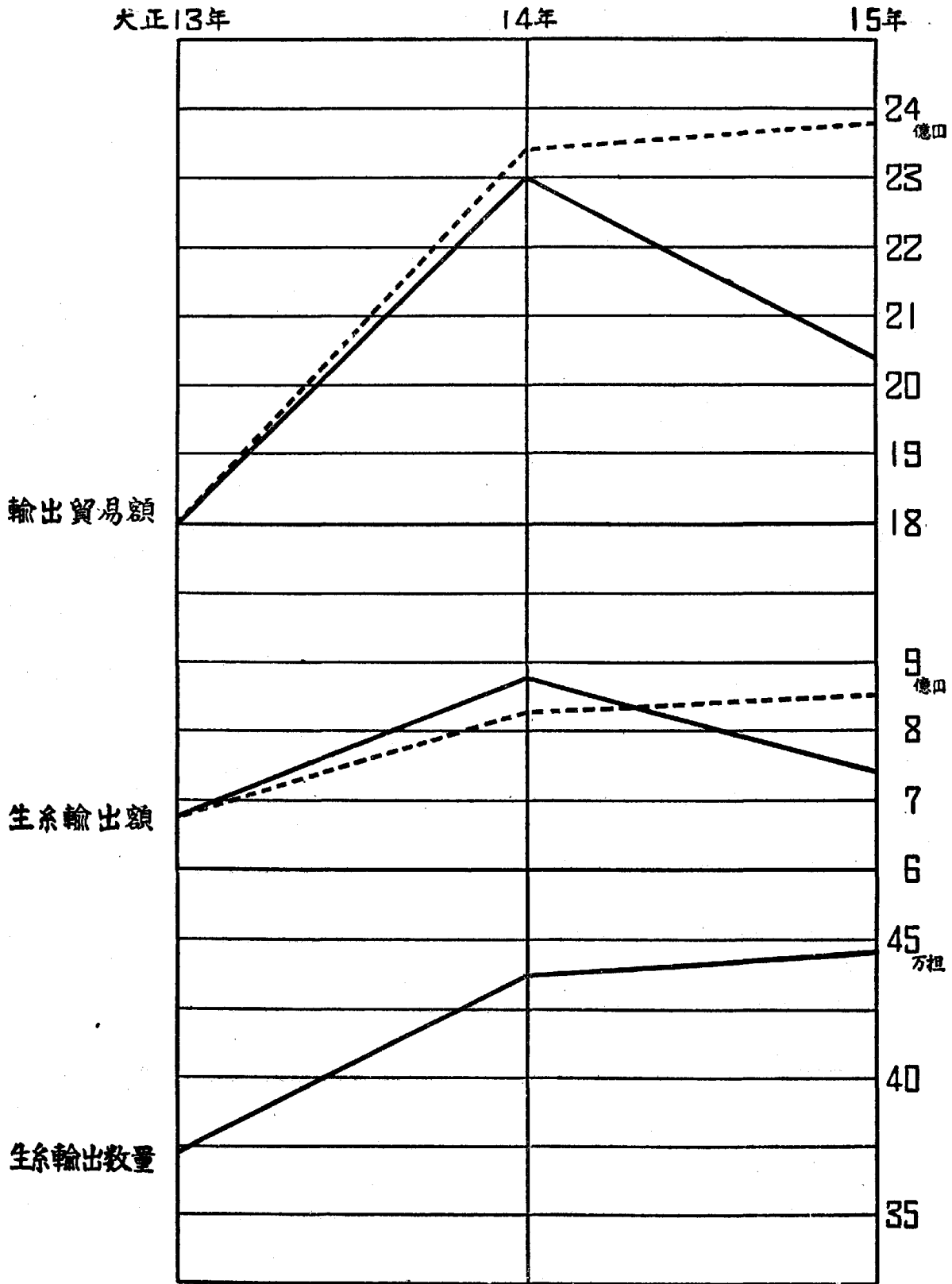
尙本年に入りても斯かる傾向を更むることなく、即ち同品の輸入金額は前年同期に比し著しく減少したるも、其數量に於ては却て増加したることは、次表によりて知ることを得べし。

	昭和二年自一月至四月	前年同期	比較増(+)減(-)	前年同期を一〇とする指數
輸入金額	二八二、九八一 <small>千</small>	三六五、六九九 <small>千</small>	(-) 八二、七一八 <small>千</small>	七七・三八
輸入數量	六、二七四、二三五 <small>擔</small>	五、三五二、四五一 <small>擔</small>	(+) 九二一、七八四 <small>擔</small>	一一七・三二
價格指數	一二八	一六九	(-) 四一	七五・七四

備考 價格指數は明治三十三年十月を一〇〇とす。

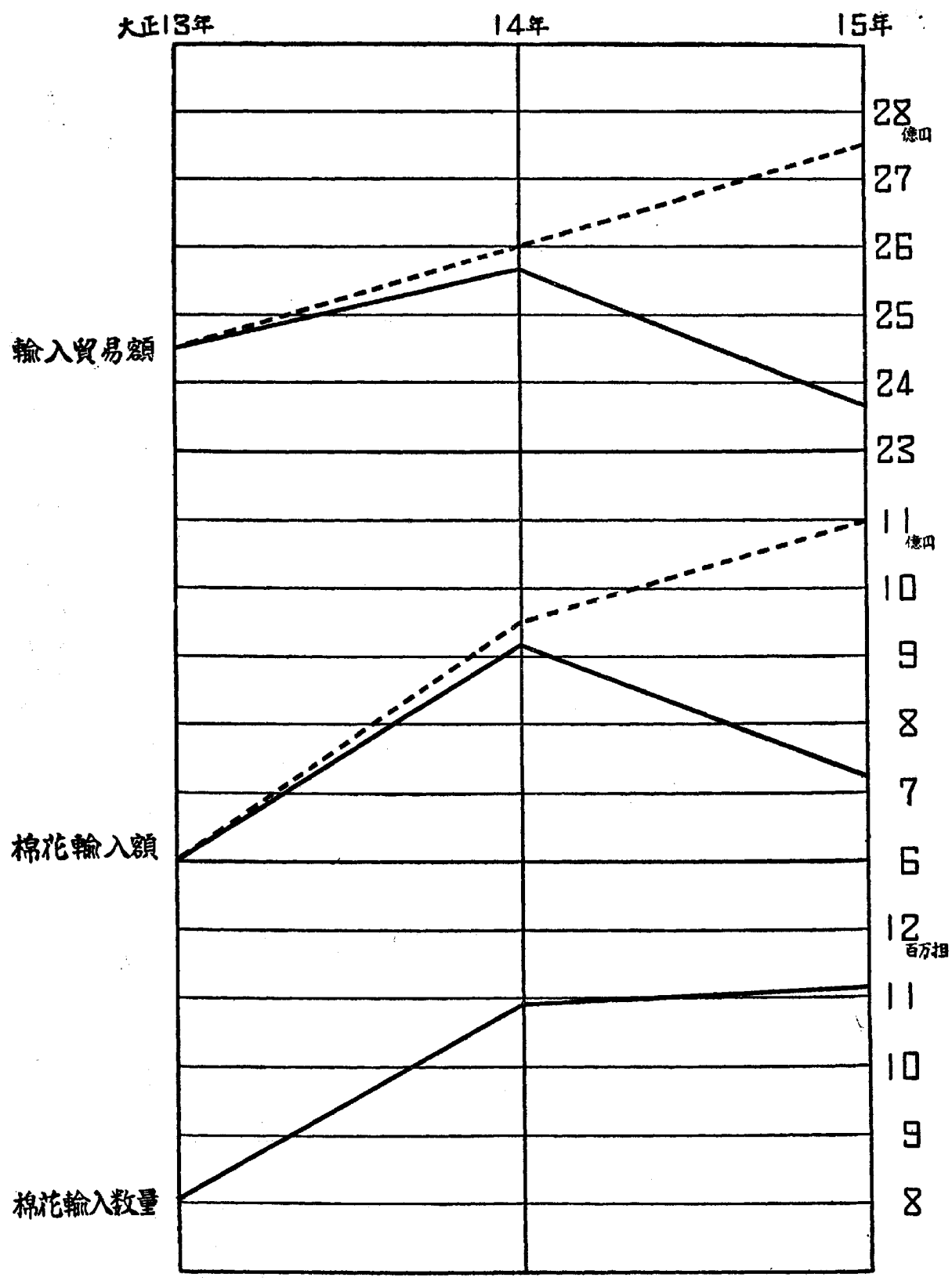
前表によりて觀るに、輸入金額は前年同期に比し二割二分六厘二毛方減少したるに反し、其輸入數量に於て却て一割七分二厘二毛方の増加を示したることを知るべく、是れ即ち本年同期間に於ける當該品の價格が前年同期に比し著しき低落(二割四分二厘六毛)を示したるに基因することを知らるべし。

# 輸出貿易圖表



備考 点線ハ大正十三年平均價格ヲ以テ改算シタルモノナリ。(調査報告参照)

# 輸入貿易圖表



備考 点線ハ大正十三年平均價格ヲ以テ改算シタルモノナリ。(調査報告参照)

## 輸出品物價指數

明治卅三年十月基準

近年に於ける我對外貿易の金額減退と其數量

品名	大正十三年	同十四年	同十五年		大正十五年 自一月至四月	昭和二年 自一月至四月
小麥粉	245	290	262		276	250
製茶	341	348	335		345	319
生糸	239	252	207		228	182
羽二重	185	184	164		175	145
絹手巾	227	212	182		200	152
甲斐絹	158	149	137		145	116
絹裏地	238	228	208		217	180
眞綿	211	222	213		215	178
綿糸	352	340	244		274	208
白木綿	24	217	166		184	141
金巾	252	240	174		196	154
毛斯綸	222	224	179		190	188
セメント	151	142	140		138	141
板硝子	209	185	150		166	130
洋紙	235	240	217		225	202
燐寸	233	228	220		222	217
石炭	334	300	288		288	306
平均	238.59	235.35	205.06		216.71	188.76
大正十三年を100とせば	100	98.64	85.95	大正十五年 自一月至四月 を100とせば	100	87.11

# 輸入品物價指數

明治卅三年十月基準

品名	大正三年	同十四年	同十五年		大正十五年 自一月至四月	昭和二年 自一月至四月
米	327	353	319		321	301
小麥	233	289	252		277	226
大豆	253	279	234		239	217
小豆	446	412	298		286	384
硫安	157	172	148		161	128
油槽	235	250	220		236	195
砂糖	360	309	287		282	290
鹽	380	374	336		339	330
鷄卵	212	207	191		171	158
牛肉	389	395	394		395	395
縲綿	230	224	151		169	128
麻	321	302	264		292	245
毛織糸	308	327	253		266	270
羅紗	288	273	247		262	232
藍	192	185	187		184	188
木材	271	227	203		218	200
洋鐵釘	129	123	106		114	98
洋銅釘	149	133	123		129	106
銅	134	142	130		133	121
鉛	214	237	184		203	158
洋紙	235	240	217		225	202
苛性曹達	182	180	157		164	148
皮革	342	353	296		317	280
石炭	334	300	288		288	306
石油	345	306	280		301	240
平均	226.64	263.68	230.60		238.88	221.84
大正十三年を100とせば	100	98.89	86.48	大正十五年 自一月至四月 を100とせば	100	92.87